

現状と課題及び今後の方針

【支え合い・助け合い】

現状と課題及び今後の方針

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実											
事業	①高齢者虐待防止											
主な取り組み	高齢者虐待防止の対応、研修等による周知啓発											
R3達成度	5 4 3 (2) 1											
現状と課題	(1)事業内容 養護者による高齢者虐待及び養介護施設従事者等による高齢者虐待の防止とその対応を行う。また、その充実に向けた連携・協力体制の整備を目的とし、高齢者福祉の関係者に対して、研修等で周知啓発を実施。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>研修実施回数</td><td>1</td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	研修実施回数	1		
	実績値	R3	R4	R5								
	研修実施回数	1										
	参考：7期											
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>研修実施回数</td><td>10</td><td>5</td><td>5</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	研修実施回数	10	5	5	
実績値	H30	R1	R2									
研修実施回数	10	5	5									
(3)課題												
関係機関や担当者によって虐待対応についての理解や認識に違いがあり、連携・協力体制の整備と対応の標準化が必要である。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、包括主催の研修会に助言者として参加した一回のみであった。												
R4に向けた今後の方針	高齢者虐待の防止において、関係機関の正しい理解と権利擁護の価値に基づいた日々の実践が重要であるため、本事業を継続する。 また、行政発信の研修についてだけではなく、各地域包括支援センターや各サービス事業所が主体となり企画運営するものについても、内容の充実や推進に向けて支援を実施する。											

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実				
事業	②高齢者消費者被害防止				
主な取り組み	消費者見守りサポーター等の養成				
R3達成度	5	4	3	②	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者の消費者被害に係る知識を備えた「消費者見守りサポーター」を養成し、地域の多様な主体との連携による地域の見守りネットワークを推進することにより、高齢者の消費者被害防止を図り消費者にとって安全・安心な地域づくりを行う。				
	(2)実績及び目標値 消費者見守りサポーター総数				
		R3	R4	R5	
	実績値	2,355			
	目標値	3,000	3,500	4,000	
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
	消費者見守りサポーター総数	1,597	2,185	2,269	
	(3)課題 講座を開催する講師の固定化、コロナ禍によるサポーター養成講座の開催数減少により、サポーター養成数が伸び悩んでいることから、開催機会の確保に努めるとともに現在のサポーターを中心とした見守りネットワーク構築を図る必要がある。				
R4に向けた今後の方針	講師と受講希望者のマッチングによる養成講座開催、サポーターへのメール配信による最新情報発信、サポーターの活動実態の把握等により、消費者被害防止に向けた更なる見守りネットワークの拡大を図る。				

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実				
事業	③成年後見制度利用支援事業				
主な取り組み	申立経費、成年後見人報酬の支援				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 判断能力が不十分な認知症高齢者等に対し、所得の低い人でも成年後見制度を利用しやすくするために、申立てに関する支援や経費の助成、成年後見人等への報酬助成を行う。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	申立て費用助成件数	3			
	成年後見人等への報酬助成件数	3			
	参考：7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	申立て費用助成件数	4	7	8	
	成年後見人等への報酬助成件数	4	4	4	
	(3)課題 単身高齢者や身寄りのない高齢者の増加に伴い、成年後見制度の必要性が高まっており、あわせて制度利用の促進が期待される。				
R4に向けた今後の方針	単身高齢者や身寄りのない高齢者の増加に伴い、権利擁護支援の必要性が高まっており、制度利用を推進するためにも本事業は継続していきたい。 置賜3市5町においても、令和4年度から権利擁護支援の中核的な役割を担う「置賜成年後見センター」を設置しており、今後更なる成年後見制度の利用促進を図っていく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	①要介護認定の適正化				
主な取り組み	質の高い認定調査の実施				
R3達成度	5 4 ③ 2 1				
現状と課題	(1)事業内容 個人委託を含めた保険者調査実施率の向上を図ると共に、委託調査票の全件点検を実施する。また、県主催の介護認定審査会委員及び認定調査員の研修を受講し、適正な要介護認定を実施していく。				
	(2)実績 認定調査保険者実施率(%)				
		R3	R4	R5	
	実績値	56.8			
	目標値	58	60	62	
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	認定調査保険者実施率(%)	54.5	50	63.5	
	(3)課題 認定調査保険者実施率向上に努めたが、目標値にはわずかに達することができなかった。				
R4に向けた今後の方針	全国一律の認定調査員テキストに沿った漏れのない正確な調査を実施していくため、市調査員が同じ基準で調査を実施していくように研鑽を図りながら、認定調査の保険者実施率の向上を目指していく。また、委託した認定調査票の全件点検を引き続き実施し、適正な認定に繋げていく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	②ケアプラン点検				
主な取り組み	面接・書面によるケアプラン点検指導				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 面接による点検や地域ケア会議における点検のほか、新規作成分の内容確認及び指導等により、自立支援に資するケアマネジメント・ケアプラン作成を支援する。				
	(2)実績				
	①面接によるケアプラン点検(件)				
		R3	R4	R5	
	実績値	36			
	目標値	60	65	70	
	②新規ケアプラン確認指導数(件)				
		R3	R4	R5	
	実績値	250			
	目標値	330	330	330	
参考:7期					
	実績値	H30	R1	R2	
	面接によるケアプラン点検(件)	30	50	34	
	新規ケアプラン確認指導数(件)	468	424	354	
(3)課題					
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、面接によるケアプラン点検が開催困難な状況となり予定していた点検ができなかったため、実績が少なかった。また、国民健康保険団体連合会の介護給付実績を活用したケアプラン点検に着手することができなかった。新規作成分の確認については、提出されたケアプラン全件を確認し必要な指導等を実施した。					
R4に向けた今後の方針	介護給付実績を活用した居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証(多職種参加の議論による検証)と、高齢者向け住まい等対策のケアプラン点検を新たに実施していく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	③住宅改修等の点検				
主な取り組み	住宅改修アドバイザー事業				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 介護・介護予防給付の住宅改修を希望する者に、作業療法士等の専門職を住宅改修アドバイザーとして派遣し助言や指導を行い、高齢者にとってより自立支援につながる住みやすい住環境づくりを支援する。				
	(2)実績 ①住宅改修アドバイザー事業利用件数				
		R3	R4	R5	
	実績値	8			
	目標値	24	36	36	
	参考：7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	住宅改修アドバイザー事業利用件数	2	9	14	
	(3)課題 住宅改修アドバイザー事業については、市民や居宅介護支援事業所に対し周知を図ってきたが、利用実績は伸びなかった。				
R4に向けた今後の方針	住宅改修アドバイザー事業について引き続き周知を図っていくと共に、利用申請者に対しスムーズに専門職を派遣できるように事務を進めていく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	④医療情報との突合・縦覧点検				
主な取り組み					
R3達成度	5 4 (3) 2 1				
現状と課題	(1)事業内容 受給者の医療情報と介護保険の給付情報の突合や複数月にまたがる介護報酬の支払い状況を国民健康保険団体連合会からの情報に基づき点検し、医療と介護の重複請求や請求内容の誤り等を早期に発見し、事業所へ適正請求の指導を実施した。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
		56			
	参考:7期				
実績値	H30	R1	R2		
	65	41	62		
(3)課題 国民健康保険団体連合会から提供される縦覧点検結果や医療情報との突合結果を更に活用し、提供されたサービスの整合性の点検や請求内容の確認を行っていく必要がある。					
R4に向けた今後の方針	今後も、受給者の後期高齢者医療や国民健康保険の医療情報との突合や介護報酬の支払状況の確認を行い、不適切な請求がないよう指導していく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援											
事業	⑤普及啓発事業											
主な取り組み	介護人材確保・育成に向けた研修会の開催、パンフレット作成											
R3達成度	(5) 4 3 2 1											
現状と課題	(1)事業内容 ①令和3年11月8日、介護事業所の職員を対象に、介護人材確保のための研修会を開催した。 ②パンフレット「介護保険利用情報」を作成した。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>研修参加者</td><td>22人</td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	研修参加者	22人		
	実績値	R3	R4	R5								
	研修参加者	22人										
参考:7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2					
実績値	H30	R1	R2									
(3)課題 ・研修受講者に対するアンケートでは、「今、事業所で大変なのが人材問題だったので、とても勉強になった。参考にしていきたい。」等の感想をいただき、参加者からは好評であった。また、グループワークを通じて、普段はできないような事業所間のコミュニケーションが育まれたようであった。研修時期については、「やや早い」や「やや遅い」という回答があったため、開催時期について課題が残った。												
R4に向けた今後の方針	・研修について、令和4年度は8月17日に開催する予定である。											

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	⑥介護相談員派遣事業				
主な取り組み					
R3達成度	5 4 3 (2) 1				
現状と課題	(1)事業内容 介護サービス利用者の日常的な不平、不満、疑問を受け付け、問題の発見や提起、解決策の提案などを通じて、苦情が発生するようなことを未然に防ぎ、介護サービスの質の向上を図る。				
	(2)実績及び目標値 介護相談員の介護サービス事業所への派遣数				
	介護サービス事業所への派遣数(回)	R3	R4	R5	
	実績値	1			
	目標値	720	740	740	
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	介護サービス事業所への派遣数(回)	680	651	0	
	(3)課題 コロナ禍により介護サービス事業所での面会制限を受け、事業所を訪問して利用者の話を聞く機会が得られなかった。オンラインによる相談の実施を提案するも、設備の問題等により実施可能な事業所が少数であることから、事業所との協議を行いながら、協力事業所の確保に努める必要がある。				
R4に向けた 今後の方針	オンライン相談を継続するとともに、実施事業所の拡大を図る。事業所職員との情報交換、介護サービス利用者向けに介護相談員からの手紙を発出するなど、面会制限解除後の訪問活動が円滑に行えるよう、現状をふまえた事業所訪問以外の活動を検討し実施する。				

施策	家族介護者への支援				
事業	①家族介護者交流支援事業				
主な取り組み	家族介護者交流激励支援事業				
R3達成度	5	4	3	(2)	1
現状と課題	(1)事業内容 在宅で高齢者の介護をしている家族を、介護から一時的に開放し、相互交流を図る機会を提供する。対象者は、要介護3、4、5の人又は認知症高齢者(日常生活自立度Ⅲ、Ⅳ及びM)を現に在宅で介護している人。日帰り交流会と宿泊交流会を開催している。 令和2年度、3年度については、新型コロナウイルス感染予防のため、交流会は実施せず、上記対象世帯に対して、介護のパンフレットを送付し、介護知識の周知啓発を図った。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	交流会参加者数	未実施			
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	交流会参加者数	52	42	未実施	
	(3)課題				
	参加者はリピーターが多く、複数回参加される方もいるが、新規の参加者が少ないため実参加者数は増えていない。 対象者が広く参加できるように周知を図るとともに、事業内容の充実について検討していく必要がある。				
	R4に向けた今後の方針	在宅で介護している方が心身のリフレッシュと相互交流できる場を提供することに主眼を置き、日々の介護にも役立つ情報を提供できるよう充実を図っていく。			

施策	家族介護者への支援											
事業	②徘徊高齢者等支援事業											
主な取り組み	事前登録制度「かえっぺ」											
R3達成度	<div>54321</div>											
現状と課題	(1)事業内容 徘徊により行方不明の恐れのある認知症高齢者等の情報を関係機関で共有し、行方不明時の早期に発見による当該徘徊高齢者等の安全の確保及び、その家族への支援を図る。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>延べ登録者数</td><td>196</td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	延べ登録者数	196		
	実績値	R3	R4	R5								
	延べ登録者数	196										
参考：7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>延べ登録者数</td><td>105</td><td>145</td><td>170</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	延べ登録者数	105	145	170	
実績値	H30	R1	R2									
延べ登録者数	105	145	170									
(3)課題 行方不明時の早期発見・保護に寄与するため、令和3年11月からQRコードシールを導入したが、希望者が少ない状況。QRコードシールを含めた事業の周知拡大の必要がある。												
R4に向けた今後の方針	認知症サポーター養成講座時に事前登録制度の説明を新たに追加する。警察署との連携による行方不明の恐れのある方の速やかな登録勧奨、発見時におけるQRコードシールの機能及び対応の普及等により、徘徊時の早期発見・保護につながる見守り体制の構築を図る。											

施策	地域包括支援センターの機能強化																																												
事業	地域包括支援センター運営事業																																												
主な取り組み																																													
R3達成度	<div>⑤</div> 4321																																												
現状と課題	<p>(1)事業内容 高齢者等が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、高齢者等の地域住民の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防に必要な援助等を通じ、地域包括ケアの推進を図る。</p> <p>(2)実績</p> <table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>総合相談件数</td><td>10,265</td><td></td><td></td></tr><tr><td>権利擁護に関する相談件数</td><td>257</td><td></td><td></td></tr><tr><td>介護支援専門員に対する個別支援</td><td>307</td><td></td><td></td></tr><tr><td>予防給付ケアプラン作成数</td><td>2,968</td><td></td><td></td></tr></table> <p>参考：7期</p> <table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>総合相談件数</td><td>8,160</td><td>9,340</td><td>9,791</td></tr><tr><td>権利擁護に関する相談件数</td><td>280</td><td>268</td><td>250</td></tr><tr><td>介護支援専門員に対する個別支援</td><td>344</td><td>314</td><td>234</td></tr><tr><td>予防給付ケアプラン作成数</td><td>1,663</td><td>2,110</td><td>2,401</td></tr></table> <p>(3)課題 地域の様々な関係者及び関係機関等から寄せられる総合相談件数の増加に伴い、内容も複雑多様化し、制度横断的な内容も多くなっていることから、適切な専門機関へつなぐための更なる連携体制構築、センター職員の質・対応力の向上を図る必要がある。また、増加する個人支援のほか、地域活動・地域における支援体制づくりに取り組む必要がある。</p>					実績値	R3	R4	R5	総合相談件数	10,265			権利擁護に関する相談件数	257			介護支援専門員に対する個別支援	307			予防給付ケアプラン作成数	2,968			実績値	H30	R1	R2	総合相談件数	8,160	9,340	9,791	権利擁護に関する相談件数	280	268	250	介護支援専門員に対する個別支援	344	314	234	予防給付ケアプラン作成数	1,663	2,110	2,401
	実績値	R3	R4	R5																																									
	総合相談件数	10,265																																											
	権利擁護に関する相談件数	257																																											
	介護支援専門員に対する個別支援	307																																											
	予防給付ケアプラン作成数	2,968																																											
	実績値	H30	R1	R2																																									
	総合相談件数	8,160	9,340	9,791																																									
	権利擁護に関する相談件数	280	268	250																																									
	介護支援専門員に対する個別支援	344	314	234																																									
予防給付ケアプラン作成数	1,663	2,110	2,401																																										
R4に向けた今後の方針 個人支援を通じて地域課題を把握し、関係者とともに課題解決に向けた協議を行うため、地域ケア会議の開催を推進する。アウトリーチによる地域の情報収集、住民主体の通いの場の立上げ、ボランティア育成等、事業の連携実施による地域包括ケアシステムの構築・深化を図る。																																													

施策	利用者負担の軽減				
事業	①米沢市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業				
主な取り組み	米沢市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 介護保険居宅サービスの利用者負担が困難な利用者に対して、自己負担分の一部を市が助成する。広報や介護支援専門員を通じて周知し、申請者は市へ領収書の添付された申請書を提出する。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	助成件数	713			
	支給額	2,487,102			
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	助成件数	635	587	786	
	支給額	2,173,493	2,081,291	2,896,447	
	(3)課題 毎月同一者が申請することが多いが、広報での周知以降、新規申請者も増えている。今後も、低所得者が助成を受けることで必要なサービスを利用し、重度になっても住み慣れた自宅での生活が続けられるよう支援する必要がある。				
R4に向けた今後の方針	必要な人が助成を受けられるよう今後も周知を図り、要介護認定者が住み慣れた環境で暮らし続けられるよう支援していく。				

施策	利用者負担の軽減				
事業	②社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度				
主な取り組み	社会福祉法人による利用者負担軽減措置事業				
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 介護保険サービスを提供する社会福祉法人が、生計が困難な低所得者の利用者負担額の一部を軽減する。対象者は、法人からの勧めで市へ申請し、「利用者負担軽減確認証」の交付を受け、利用者負担分と食費・居住費の1/4の軽減が図られる。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	社会福祉法人数	6			
	確認証交付件数	9			
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	社会福祉法人数	3	5	5	
	確認証交付件数	9	11	11	
	(3)課題 取り組む法人数は横ばいで全ての法人の実施には至っておらず、新規の交付件数も少ない。低所得者がこの制度を知らずに利用できない状況もあり得る。				
R4に向けた今後の方針	社会福祉法人に対し、制度についての周知を図ると共に理解を求め、低所得者の利用負担が軽減されるように、積極的な取り組みを働きかけていく。				

事業	①生活支援体制整備事業											
主な取り組み	生活支援コーディネーターの配置											
R3達成度	(5) 4 3 2 1											
現状と課題	(1)事業内容 生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置により支え合いによる活動を推進し、多様な主体による多様な生活支援提供体制の整備を推進する。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>生活支援コーディネーター配置数</td><td>5</td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	生活支援コーディネーター配置数	5		
	実績値	R3	R4	R5								
	生活支援コーディネーター配置数	5										
参考:7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>生活支援コーディネーター配置数</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	生活支援コーディネーター配置数	4	4	4	
実績値	H30	R1	R2									
生活支援コーディネーター配置数	4	4	4									
(3)課題 生活支援コーディネーターによる活動だけでなく、地域住民やボランティアなどの多様な主体による協議に基づいた住民主体の活動の創出が求められる。												
R4に向けた今後の方針	既に活動している住民主体の活動の支援・啓発とともに、活動意欲の高い住民とともに新たな活動創出に向けた勉強会を開催する。											

施策	生活支援サービスの充実											
事業	②高齢者労働能力活用事業											
主な取り組み	米沢市シルバー人材センターの運営支援											
R3達成度	5 4 (3) 2 1											
現状と課題	(1)事業内容 高齢者のライフスタイルに合わせた就業等の機会を提供するとともに、ボランティア活動等の社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現を目指す。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>会員数</td><td>383</td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	会員数	383		
	実績値	R3	R4	R5								
	会員数	383										
参考：7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>会員数</td><td>387</td><td>376</td><td>400</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	会員数	387	376	400	
実績値	H30	R1	R2									
会員数	387	376	400									
(3)課題 高齢者が個々に持つ多様な能力を活かし就労を図るために、本事業が果たす役割は大きい。 また、社会の支え手となる人材を確保し在宅高齢者の日常生活を支援することは、高齢社会を支える上で必要不可欠である。												
R4に向けた 今後の方針	今後ますます高齢化が進展する中で、稼働能力の発揮が可能な高齢者が地域の担い手となる意義は大きく、本事業におけるシルバー人材センターの果たす社会的役割は大きい。 シルバー人材センターが主体的に企画立案する事業等に対して、今後も積極的に支援していく。											

施策	地域共生社会の理念啓発・社会の構築				
事業					
主な取り組み					
R3達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」の関係を越え、住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が「丸ごと」つながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現を目指す。 そのため、複合化した問題や制度の狭間の問題に対して、全体を俯瞰して支援する福祉総合相談支援体制の構築に取り組んでいく。				
	(2)実績 他課と連携して対応した相談件数				
	実績値	R3	R4	R5	
	連携件数	12			
	参考：7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	(3)課題 関係課協働による福祉総合相談支援体制を構築し、随時適切な対応を実施しているものの、対応件数が少ないために総合的な評価・改善に向けた取り組みまでには至っていない。				
R4に向けた今後の方針	前年度に引き続き、丁寧な相談支援を実施し、一人ひとりに寄り添う伴走型支援を推進する。高齢者・介護分野におけるサービスや社会資源を障がい者等の他の分野と情報共有する等、相互連携を推進し、制度の狭間のニーズへの対応、住民同士の顔の見える関係性の育成支援等、制度を超えた重層的な支援体制の構築に向けた基盤整備を図る。				

施策	介護人材確保及び業務効率化の取組											
事業	研修会の開催、変更届等各種届出の簡素化											
主な取り組み	介護人材確保・育成に向けた研修会の開催、書類提出方法の変更											
R3達成度	(5) 4 3 2 1											
現状と課題	(1)事業内容 介護事業所から市へ提出する各種届出について、押印欄を削除したことにより電子メールに添付して提出することができるようになった。 研修会の開催については、P21のとおり。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5				
	実績値	R3	R4	R5								
参考:7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2					
実績値	H30	R1	R2									
(3)課題 様式やそれに付随して提出する必要がある様式をを市ホームページに掲載しているが、添付書類に関する質問が電話で寄せられることがある。												
R4に向けた 今後の方針	介護事業所から市役所に提出する各種届出について、国では更なる文書削減を検討しているため、その情報に注視し、本市でも国に準拠した形で対応していく。また、提出する届出書及び添付書類について丁寧な説明を引き続き行っていく。											